

土木学会 鋼構造委員会
歴史的構造物保全技術連合小委員会

【活動予定期間】

2006年7月～2010年9月(4年間)

<本委員会は2010年をもって活動を終了しています。>

【活動の目的】

土木遺産に対する社会的関心の高まりを背景として、国土整備における土木遺産の役割が拡大するとともに、文化財として保全される土木遺産の数も増加している。これに伴って、土木構造物の文化的、歴史的価値に配慮した維持管理が求められている。本委員会ではコンクリート、水工学、構造工学、鋼構造、地盤工学、土木計画学、土木史研究、景観デザインの8委員会の連合によって、土木遺産保全への普及啓発、維持計画、設計、施工の制度的、技術的課題、ケーススタディーを柱とした活動を行なう。

【活動状況】

委員会の主たる研究活動は平成20年度でほぼ終了し、遅延していた報告書について9月1日に図書「歴史的土木構造物の保全」(鹿島出版会)を発売した。

主要目次

第1章 保全の基本的考え方と手法

第2章 保全のための計画論

第3章 保全のための設計・施工論

鋼構造物/コンクリート構造物/石造構造物/地盤構造物/ダム/トンネル/

河川構造物/港湾/煉瓦造建築物/鉄筋コンクリート造建築物

第4章 事例分析

橋梁/河川/その他

資料 歴史的な構造物の保全に係る文書抄録

(B5判・上製・312頁 予価:6,800円)

【今後の活動計画と目標とする成果】

報告書としての図書「歴史的土木構造物の保全」の発売をもって連合小委員会の活動を終了とする。

【PR ポイント】

【構成委員】

委員長	五十畑 弘
委員	植野 芳彦（鋼構造委員会代表）
委員	岡田 昌彰
委員	小野田 滋
委員	笠 博義
委員	岸 利治
委員	小島 芳之
委員	後藤 治
委員	佐々木 葉
委員	田中 尚人
委員	知花 武佳
委員	中井 祐
委員	樋口 輝久
委員	久田 真
委員	三村 衛
幹事	北河 大次郎
連絡幹事	金子 傑